

## 公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

### 1. 基本情報

#### (1)管理施設

施設名	小山中央学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】 町田市小山ヶ丘3-7-1(小山中央小学校敷地内) 【開設年月】 2010年 【開所日時】 月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】 延床面積 316.11㎡ 【建物構造】 軽量鉄骨造 平屋建て 【児童数】 141名(2019年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://afterschool.keikoukai.ed.jp/oyamachuou/		

#### (2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 景行会	法人番号	9012305000203
指定管理者所在地	町田市藤の台1-1-56		
指定期間	2015年4月1日～2020年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつ提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

### 2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
利用者アンケートの回収率を80%以上	毎年度	回収率87.9%となり、目標を達成している
チャレンジグループ活動発表会に多くの児童、保護者に参加して頂く	毎年度	児童99名、保護者137名、兄弟関係34名となり、過去最高の参加人数
職員の研修への参加回数5回以上	年度末	常勤の研修参加回数6.0回となり、目標を達成している

### 3. 昨年度の課題

内容	特になし
----	------

### 4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>A</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、昨年度同様、90%以上の満足度を得られていることから、質の高いサービスを提供していると判断できる。新たなまちともとの連携に取り組んだことや、日々の保育内容を見直したことが要因としてあげられる。また、職員の人材育成や研修受講支援について、一定以上取り組んでいたことは評価できる。その他の業務履行状況・財務状況は要求水準を満たす運営を行っており、全体的に良好な運営を行っている判断し総合評価を「A」とした。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	社会福祉法人 景行会の施設運営理念に則り、児童一人一人の人権を守り、また、人としての尊厳の尊重を大切に保育と、豊かな人格形成を目標にした活動を行った。縦割りの生活班や目的別のチャレンジグループ活動の企画運営継続して行った。チャレンジグループ発表・交流会は、新型コロナウイルス感染拡大の時期直前で間に合い、全6グループの発表を行うことができ、昨年度より多くの児童と保護者の参加が見られた。学校と地域の連携では児童の情報交換や新たなまちとも会議の参加を行った。今年度も地域学童とのサッカー大会として小山・小山ヶ丘・藤の台・小山中央の4学童交流を行うことができた。保護者会に関しては継続して運営をすることが出来た。保護者会役員との連携を図ることで円滑に学童まつりを実施することが出来た。利用者満足度調査では前年度を下回るも87.9%の回収率を達成することが出来た。	

## 【評価対象年度 2019年度】

### 5. サービスの質に関する評価

#### 【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2020年1月 【登録児童数】135名(調査月1日時点) 【配布枚数】124枚 【回答数】109枚 【回収率】87.9% 【調査方法】手渡しにてアンケート用紙を配布し、回収箱を設置し、投函することで回収
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A:90%以上 B:75%以上～90%未満 C:75%未満	80%	94.5%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	80	80	80	80	80
実績値	100	100	96.3	95	94.5

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の6項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A:90%以上 B:75%以上～90%未満 C:75%未満	80%	96.1%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	80	80	80	80	80
実績値	96.9	97.7	96.3	99.2	96.1

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤・長期勤務職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A:10回以上 B:2回以上10回未満 C:2回未満	3回	6.0回	B	
指定期間内における実績(単位:回)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	2	2	2	2	3
実績値		1.5	4	3	6.0

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度は90%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており、満足度は高い水準であったことから、全体的に優れた運営を行っている判断できる。学童保育クラブの管理運営において、総合的に質の高いサービスを提供していると判断でき、次年度以降も同様な結果が望まれる。アンケート回収率は75%を超えており、利用者の意見の聴取に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は5回を超えており、職員の能力向上への取り組みは要求水準以上であった。職員の資質向上については、一定以上取り組んでいると判断できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2019年度】

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	入会説明会の実施・入会のしおりを配布していた。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	お便りの配布、メール配信等を実施していた。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	実施報告書により、事業を適切に実施していることが確認できた。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	期日どおり適切に提出されていた。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	チェック表等により、適切に点検を実施していることが確認できた。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護に関する規定が整備されていた。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が適切に保管されていた。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開に関する規定が整備されていた。	適
要望対応	苦情対応体制の整備	苦情対応体制の構築	第三者委員が設置され、苦情対応の体制が構築されていた。	適
	苦情窓口の周知	意見・苦情を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が周知され、意見箱が設置されていた。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていた。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していた。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていた。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員を配置していた。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していた。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいた。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	管理運営経費の削減に取り組んでいた。	適
地元貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していた。	適
	市民雇用及び市内業者からの調達	町田市民の雇用又は市内業者からの調達	市民雇用、市内業者の利用に配慮していた。	適

【評価対象年度 2019年度】

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	年度	2015		2016		2017		2018		2019		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	
収入	指定管理料	41,168	40,807	36,744	37,150	37,122	36,739	38,080	37,982	43,055	41,087	
	特別育成料	500	752	700	653	700	577	400	605	400	678	
	雑収入	49	46	24	21	24	22	22	18	24	0	
	寄付等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	41,717	41,605	37,468	37,824	37,846	37,338	38,502	38,605	43,479	41,765	
支出	人件費	35,878	34,752	31,939	32,504	32,317	29,713	32,574	30,419	36,243	34,558	
	管理費	1,219	1,267	1,029	866	1,029	949	1,029	832	1,052	1,069	
	運営費	1,060	993	940	890	940	726	990	882	1,182	551	
	精算する経費	1,500	1,311	1,500	1,215	1,500	1,303	1,500	1,433	1,700	1,412	
	間接経費	2,060	1,632	2,060	1,708	2,060	2,708	2,409	2,550	3,302	2,924	
	計	41,717	39,955	37,468	37,183	37,846	35,399	38,502	36,116	43,479	40,514	
総計(収入-支出)		0	1,650	0	641	0	1,939	0	2,489	0	1,251	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2015	2016	2017	2018	2019
経常利益率	6.2	-1.4	1.2	0.1	1.5
負債比率	10.5	9.6	9.8	9.7	8.0

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率・負債比率も適正な値であった。